



スクールガード活動の充実に向けて

- 学校・家庭・地域の連携による子どもの安全確保と健全育成 -

山口県学校等安全連絡協議会
山口県PTA联合会
山口県教育委員会

平成22年7月

子どもたちが安全な環境の中で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における、子どもたちを見守る体制の整備が重要になっています。

これまでも、教職員はもとより保護者やボランティアの方々等の協力で、スクールガード活動が地域ぐるみで実践され、安全確保と健全育成に大きな成果を上げています。今後とも学校・家庭・地域の連携による取組をお願いします。

◆ スクールガード組織の充実

- 保護者によるスクールガード活動を支援しましょう。
 - ・PTA総会等で紹介し、多くの方に協力をいただくことが活動の拡がりにつながります。
 - ・声かけ運動など、健全育成の視点を取り入れることで活動が充実します。
- 地域のボランティア団体と連携しましょう。
 - ・ボランティアの方々との対面式や交流会等が、活動の活性化につながります。
 - ・学校だより等で、見守り活動や安全点検等の様子を紹介することも効果的です。



【スクールガードとの対面式】



【学校行事等での交流】



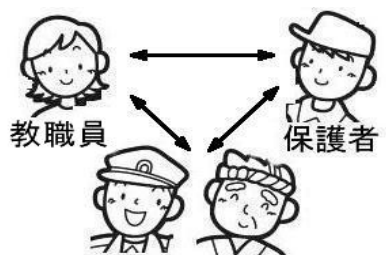
【通学路安全点検】

◆ 情報配信システムの整備

- 学校とスクールガードのつながりを強くしましょう。
 - ・日常の情報交換を行うことで、ネットワークが充実し、連携が強化されます。
 - ・携帯メールを利用した連絡は多くの人に素早く連絡でき、緊急時の連携に有効です。

【日常の連携】

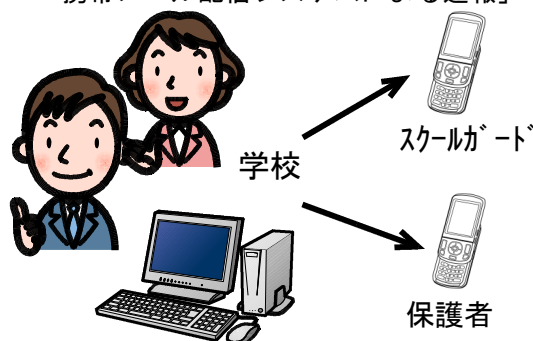
「日常の情報交換による連携強化」



(危険箇所や子どもの様子の報告等)

【緊急時の連携】

「携帯メール配信システムによる速報」



(下校時間の変更や不審者情報等の配信)

◆ 学校・家庭・地域等の連携体制づくり

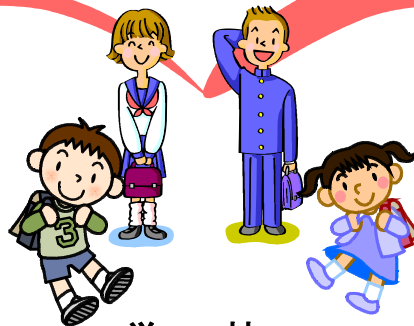
スクールガード活動は、学校、家庭、地域、関係機関・団体が一体となり、それぞれの役割を果たすことでより充実した取組となります。

地域で開かれている「生徒指導連絡協議会」や「青少年健全育成会議」等の中で「学校とスクールガードの連絡会議」も開催し、関係者がスクールガード活動に連携して取り組む体制をつくることは、「互いに助け合う、安心して安全なまちづくり」を進めるために大変重要な取組です。

スクールガード活動

家庭・地域・関係団体

- 見守り活動
- 子どもへの安全指導
- 緊急時避難場所の提供
(子ども110番の家等)
- 防犯パトロール 等



学 校

- 安全教育の推進
- 通学路の安全点検
- 安全マップの作成
- 緊急時のメール配信等

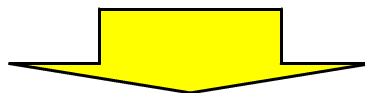
警察等関係機関

- 不審者情報の提供
- 防犯教室・訓練の実施
- 危険箇所の点検・整備
- 連絡会議での指導・助言

『学校とスクールガードの連絡会議』の開催

【開催例】 地域で開催される「生徒指導連絡協議会」・「青少年健全育成協議会」等の既存会議の中での取組が望まれる

構成メンバー	協議内容	回数
○小・中学校	○見守りの役割分担	年3回
○家庭・地域(PTA・ボランティア団体等)	○危険箇所等の確認	[体制づくり]
○警察・児童相談所・近隣高等学校	○緊急時の対応の研修	[活動確認]
○民生委員・児童委員・保護司等	○健全育成面の情報交換等	[振り返り]



【安全確保】



【健全育成】

山口県犯罪のない安全で安心な
まちづくり防犯シンボルマーク

安心して安全なまちづくり